

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月 11日

【評価実施概要】

事業所番号	0170502785		
法人名	特定非営利活動法人実りの里りん		
事業所名	グループホーム凜		
所在地	札幌市白石区米里3条1丁目2-4 (電話)011-873-1313		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年6月19日	評価確定日	平成19年7月11日

【情報提供票より】(平成19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成) 16年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤	人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	16,000 ~ 21,000 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300 円		

(4) 利用者の概要(6月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1	要介護2	0
要介護3	4	要介護4	3
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 83 歳	最低 73 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	勤医協中央病院伏古10条クリニック・札幌トイ病院・桑園病院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所はのどかな住宅街に位置し、地域住民の支援を受けて運営内容・方針への理解を得ている。運営推進会議に町内会長・民生委員が参加し、事業所運営の細部にわたり活発な意見交換が行われている。また、他事業所からのボランティア支援があったり、主治医や関連医療機関と密なる連携が取られているなど、事業所運営にとって心強い協力体制が整っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題に直ちに取り組み、改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議においての検討内容や利用者家族の意見も取り入れ、自己評価を行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を地域住民との意見交換の場としても活用しており、会議においての意見を日々のケアに活かしている。今後も活発な意見交換を行い、質の向上に取り組む事が期待される。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族からの苦情等には十分な対応がなされている。また、運営においても利用者・家族の意見を取り入れ反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩時に挨拶をしたり、畑作業時に日常会話を交わすなど近隣住民との交流が図られている。今後もこの関係を保ち、更なる連携を取る事が期待される。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会において継続して生活できるよう支援体制が作られており、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は理念を共有し、日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者・職員共に積極的に地域の行事に参加しており、地域住民とも密に連携が取れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	定期的に自己評価を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において活発な意見交換が行われ、運営について検討がなされている。また、会議出席者からの意見も記録に残されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者会議を通して市町村と連絡を取っている。また、行政担当者とも個別記録ケース対応などにおいて意見を聞いている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的にホーム便りを発行しており、利用者の日頃の様子を伝えている。また、金銭出納についても定期的に報告し、確認後の捺印をもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>カンファレンス時など、家族の意見を聞く機会を設けている。また、来訪時には職員は家族に積極的に声掛けするよう心がけている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>行事には他事業所職員がボランティア参加することが多く、異動による利用者へのダメージは少ない。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は職員が法人内外での研修参加の機会を設けており、その内容を職員に伝達する仕組みも作られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域における同業者との情報交換の機会を設けている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者・家族から生活歴などを情報収集し、日々のケアに活かしている。また、職員の対応は家庭的であり、馴染みの関係が築かれている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>担当制を導入しており、利用者と職員が共に支え合う関係が築かれている。また、職員は利用者の自尊心を大切にされた対応を心掛けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	日常生活における散歩や買い物など、利用者の意向を重視した支援が実践されている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者・家族の意見や要望を基に、職員による意見交換を行い、介護計画を作成している。また、関連事業所職員からの意見も求められており、介護計画への活発な意見交換が行われている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	利用者の身体状況に応じて、そのつど現状に即した介護計画を作成している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	来訪者への食事の提供や宿泊など、柔軟な支援を実践している。また、民生委員に声掛けをし、地域の高齢者にも気軽に事業所を利用してもらえるような働きかけを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者自身が希望するかかりつけ医への受診の支援を行っている。また、利用者の状態により事業所への往診対応も行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者が終末期を迎える時には、方向性について家族・主治医と共に話し合いを行っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報に関する規定・マニュアルが整備されており、家族へ説明がなされ同意を得ている。また、職員は利用者の自尊心を大切にした対応を心掛けている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのペースを大切に、希望を聞きながらの支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を取り入れた献立が生まれ、食事の準備は利用者と職員が一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた入浴支援がなされている。また、利用者の身体状況に応じて訪問入浴を利用することもある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や好みに応じ、散歩や畑仕事などその人らしい過ごし方が出来る様な支援がなされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望により、デイサービスなどの各種サービス利用への支援がなされている。また、季節に応じた事業所の行事も多く開催されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間は防犯上のため施錠しているが、昼間は鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルを策定しており、定期的に防災訓練を実施している。また、地域住民と連携を取りながら対策を講じたり、運営推進会議において非常時の協力体制について話し合うなど、日頃から地域住民の協力を得られるような働きかけを行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量・水分量・排泄量などが記録として残されており、職員は把握している。また、栄養状態については利用者の主治医と相談し、利用者の身体状況に応じた食事の提供がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースには、茶たんすが置かれており家庭的な雰囲気有している。また、窓下には腰掛けられるような工夫がされており、利用者同士が語り合えるような配慮がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた家具や装飾品が置かれており、利用者が居心地良く過ごせる空間作りがなされている。		

 は、重点項目。